

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- 「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- 「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- 各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

宗教学

履修のしかた

宗教学プログラムは、本学が建学の精神として掲げているキリスト教を始め、世界の諸宗教と文化を様々な視点から深く学ぶプログラムです。宗教を学ぶことで、自己への理解が深まります。

履修の際は、次のことに留意してください。

- ① 1 年次に、宗教学概論、聖書学概論など「導入・基礎」科目群から選択して履修してください。
- ② 2 年次以後は、「展開」「応用」科目群から関心のある科目を選択して履修してください。
- ③「履修モデル」を参考にして、学習に方向性を持たせた履修計画を立てることを勧めます。

他のプログラムとの関係

◆関連性の強いプログラム

人文領域：特に哲学プログラム。

社会領域：歴史学、文化人類学、社会学、教育プログラム。

自然領域：物理学、生物学プログラム。

統合領域：国際協力、多文化共生、ビッグヒストリープログラム。

※「文化は宗教の表現であり、その根底にあるのは宗教である」(内村鑑三)。この言葉の通り、人間は常に宗教とともにあり、宗教が人間文化の最も豊かな部分を支えてきました。いずれのプログラムをメジャー専攻とする学生にとっても、宗教学プログラムをマイナー専攻にすることはより良い人間理解につながります。選択肢の一つとして検討してみてください。

留学・教職その他

◆留学について

自国では当たり前だと思っていることも、外国でそのまま通用するとは限りません。人種・宗教・習慣・文化・言語などに多様性があるように、日本社会では考えられないような常識も外国には存在します。留学先では異なる言語・文化背景や価値観(宗教信仰)を持つ人々との出会いがあります。彼、彼女らとの対話を通して視野を広げ、思考を深め、多様な考え方を受け入れることに努めてください。宗教の学びは、きっとあなたの海外留学生活に役に立つでしょう。

◆教職について

社会科の教員免許を取得する学生は、「宗教学概論」が必修科目です。

学生へのメッセージ

人間は、昔から宗教と深い関わりをもって生きてきました。これは時代が変わっても変わらない、大切な事実です。たとえば、古代ギリシャの哲学者プルタルコスは次のように語っています。「世界中を見渡せば、城壁や学問、王様や宮殿、財宝やお金、競技場や劇場のない町は見つかるかもしれない。でも、神殿や祈り、誓いや占いがまったく存在しない町には、誰も出会ったことがないし、これからも出会うことはないだろう」と。

このように、宗教が人々の暮らしや心から消えることがないのは、それが人間の本質に根ざした、知性と精神の働きから生まれたすばらしい営みだからです。キリスト教やイスラーム、仏教などの世界宗教は、人間が自分たちの限界を超えて、より深く広い世界を求めて祈り、思索するなかで生まれてきました。宗教は人類の歴史とともに始まり、共に歩んできたのです。だからこそ、宗教について学ぶことはとても大切な意味をもっています。

宗教は、一人ひとりが持つ価値観や考え方の根っこにあります。宗教を学ぶことで、人類が築いてきた精神文化の深い源流に触れるだけでなく、世界の多様な考え方を理解し、自分自身を見つめ直すきっかけにもなるでしょう。そして、違った価値観を持つ人たちに対する寛容な心や、国際的な感覚も自然と養われます。

信仰の有無に関係なく、また宗教について賛成かどうかに関わらず、すべての学生を歓迎します。

宗教学プログラム

1 宗教学履修者向け 基本モデル(人文領域 宗教学プログラム メジャー)

本履修モデルは、宗教学を専攻(メジャー)にする学生にとって基本となるモデル・プログラムです(人文領域には、宗教学をはじめ、文学、言語学、哲学、心理学、コミュニケーション学が含まれます)。

宗教学の研究は「宗教とは何か」と問い、これを客観的に考えるところから始まります。現代では、宗教を信じる・信じないに関わらず、宗教リテラシー(社会生活の様々な場面で遭遇する事態に対し適切に対処するための判断材料となる宗教知識、判断力、理解力、運用能力)が求められています。多面的社会における宗教の在り方を、複数の宗教についての比較研究をすることから始めてください。理念(規範)研究、と実態(記述)研究をバランスよく履修することを勧めます。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、他専攻の科目から個人的に関心の持てる諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱを履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。推薦図書は、J. ヒック『神は多くの名前を持つ』、『宗教多元主義』等です。その他、学生の関心や力に応じて専門書をテキストとして紹介します。

宗教学プログラム

レベル カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・基礎		宗教学概論	2									
		キリスト教史概論	2									
		仏教史概論	2									
		イスラーム史概論	2									
		キリスト教文化史	2									
		日本の宗教・世界の宗教	2									
展開		実践宗教学	2		旧約聖書を読む	2		仏教文化論A	2			
					新約聖書を読む	2		仏教文化論B	2			
					イスラーム思想	2		日本思想史A	2			
					宗教人類学A	2		日本思想史B	2			
					宗教人類学B	2						
					キリスト教神学概論	2						
応用					宗教と哲学	2						
					宗教と民族	2						
					宗教とジェンダー	2						
					宗教と倫理	2						
					宗教と文化	2						
					宗教と教育	2						
					宗教学文献講読	2						
					アジアの思想と宗教Ⅰ	2						
					アジアの思想と宗教Ⅱ	2						
					一神教研究	2						
					キリスト教人間学	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 宗教学入門〔2〕
 - ・ 人文探究〔2〕
 - ・ 哲学概論〔2〕
 - ・ 心理学概論〔2〕
 - ・ 国際協力概論〔2〕
 - ・ 文化人類学概論〔2〕
 - ・ 異文化理解教育〔2〕
 - ・ 情報と倫理〔2〕
- ・ 多文化共生の人類学〔2〕
 - ・ 日本民俗学〔2〕
 - ・ 平和論〔2〕
 - ・ イスラームの法と社会〔2〕
 - ・ 美学芸術論〔2〕

宗教学プログラム

2 宗教学履修者向け（キリスト教を中心に学びたい学生のために）

キリスト教人口は全世界で23億人にのぼり、世界人口の約3分の1を占めています。キリスト教はユダヤ教、イスラームとも関係が深く、国際社会を読み解く上で不可欠な世界宗教の一つです。キリスト教の歴史は2000年の歴史の間に思想として、文化として、制度としてさまざまな展開を遂げました。したがって、キリスト教を抜きにして、西洋文化をはじめ、アメリカ大統領とプロテスタント諸派の関係、パレスチナ問題などを語ることはできません。また、キリスト教の世界と歴史を学ぶことにより、十字軍が果たした役割、西洋建築の基礎となった教会デザイン、ローマ教皇とバチカン市国の関係、そして聖地の存在など、興味の裾野は限りなく広がることでしょう。

本履修モデルは、キリスト教に関する知的・教養的な理解(文学や芸術、民族と宗教問題、人権問題)を深めるためのモデル・プログラムです。「将来、キリスト教主義学校に就職したい」「社会福祉の仕事につきたい」「キリスト教の聖職者(牧師・神父)になりたい」などに関心がある学生にお勧めです。

以下の推奨科目を参考にして履修計画を立てて下さい。3年次に専攻演習Ⅰ、Ⅱを履修して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学プログラム

レベル カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・基礎		キリスト教史概論	2									
		キリスト教文化史	2									
		日本の宗教・世界の宗教	2									
		聖書学概論	2									
展開		実践宗教学	2		旧約聖書を読む	2						
					新約聖書を読む	2						
					キリスト教神学概論	2						
応用					宗教と倫理	2						
					宗教学文献講読	2						
					宗教と文化	2						
					宗教と文学	2						
					キリスト教と教育	2						
					一神教研究	2						
					宗教とジェンダー	2						
					宗教と哲学	2						
					キリスト教人間学	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 仏教史概論〔2〕
 - ・ 人文探究〔2〕
 - ・ キリスト教入門〔2〕
 - ・ 哲学概論〔2〕
 - ・ イスラーム史概論〔2〕
 - ・ 倫理学概論〔2〕
 - ・ 平和論〔2〕
- ・ アジアの思想と宗教〔2〕
 - ・ 宗教と教育〔2〕

宗教学プログラム

3 宗教学+社会領域(文化人類学)

本履修モデルは、宗教学+社会領域(特に文化人類学プログラム)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。
(社会領域は、歴史学プログラム、文化人類学プログラム、法・政治学プログラム、経済学プログラム、社会学プログラム、教育学プログラムがあります。)

諸宗教を学び、現代を読み解く視点においてフィールドワーク(現地調査)に基づく研究は、大切な一つの方法論です。アジア・アメリカ・日本など具体的な地域の歴史や宗教文化、政治・経済などを学び、特殊性や多様性を理解して、幅広い教養を身につけてください。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、他のプログラムから個人的に関心の持てる諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱを履修して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学プログラム

レベル カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・基礎		宗教学概論	2		異文化コミュニケーションA	2						
		文化人類学の歴史と方法	2		異文化コミュニケーションB	2						
		世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
		イスラーム史概論	2									
		日本の宗教・世界の宗教	2									
展開		環境文明論	2		宗教人類学A	2		仏教文化論A	2			
		実践宗教学	2		宗教人類学B	2		仏教文化論B	2			
					多文化共生の人類学	2						
					ジェンダーの人類学	2						
応用		情報と社会	2		アジアの思想と宗教I	2		アメリカ民族論	2			
					宗教と文化	2		文化遺産論	2			
					遊牧文化論	2		日本民俗学	2			
					宗教と民族	2						
					宗教と哲学	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 仏教史概論〔2〕
- ・ 社会学概論〔2〕
- ・ 日本語の多様性と社会〔2〕
- ・ SDGsとグローバルガバナンス〔2〕
- ・ 国際協力概論〔2〕
- ・ 国際開発論〔2〕
- ・ 文化人類学フィールドワーク〔2〕

宗教学プログラム

4 宗教学+統合領域(ビッグヒストリー)

本履修モデルは、宗教学+統合領域(特にビッグヒストリープログラム)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。
(統合領域は、国際協力プログラム、アメリカ・アジア・日本研究プログラム、環境学プログラム、メディア・ジャーナリズムプログラム、博物館学プログラム、多文化共生プログラム、地域デザインプログラム、データサイエンスプログラム、科学コミュニケーションプログラム、ビッグヒストリープログラム、言語教育プログラムがあります。)
宗教は、人間の誕生とともに言語を介して生まれ、その営みの中には社会的・倫理的な現実が映し出されています。言葉の世界の中には、神の存在、Something Great、霊、救い、悟り、戒律など神秘的なものが息づき、メッセージがこめられています。そしてそれらを理解するには多様な解釈の可能性が許されています。是非、壮大なヴィジョンを持って、生命(いのち)とは何か、宇宙とは何か、生きる意味とは、等の「地球の諸問題」に挑戦してください。
下記の推奨科目を基本にして履修計画を立てて下さい。その他、他のプログラムから個人的に関心のある科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱを履修して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学プログラム

レベル カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
導入・基礎		日本の宗教・世界の宗教	2		植物学A	2					古生物学	2
		環境文明論	2		動物学A	2						
		イスラーム史概論	2									
		世界史概論A	2									
		世界史概論B	2									
展開		平和論	2		地球規模環境論	2						
					キリスト教神学概論	2						
					環境人類学	2						
					資源人類学	2						
					宗教人類学A	2						
応用					宗教人類学B	2						
					人と自然	2		宇宙と現代物理学	2			
					宗教と倫理	2		天文学	2			
					環境倫理学	2						
					宗教と哲学	2						
					キリスト教人間学	2						
					アジアの思想と宗教I	2						
					アジアの思想と宗教II	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 宗教学概論〔2〕
 - ・ キリスト教史概論〔2〕
 - ・ 仏教史概論〔2〕
 - ・ 物理学概論〔2〕
 - ・ 生物学概論〔2〕
 - ・ 哲学概論〔2〕
 - ・ 多文化共生の人類学〔2〕
 - ・ 情報と倫理〔2〕
- ・ 地球市民社会論〔2〕
 - ・ 国際協力概論〔2〕
 - ・ 国際協力インターン〔2〕